

第 8 章 家庭

第 1 教科目標, 評価の観点及びその趣旨等

1 教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にすることを心がけ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
衣食住や家族の生活などについて関心をもち、その大切さに気付き、家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。	家庭生活について見直し、身近な生活の課題を見付け、その解決を目指して生活をよりよくするために考え自分なりに工夫している。	日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。	日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

3 内容のまとめ

家庭科においては、学習指導要領の内容の「A 家庭生活と家族」(1)～(3), 「B 日常の食事と調理の基礎」(1)～(3), 「C 快適な衣服と住まい」(1)～(3), 「D 身近な消費生活と環境」(1), (2)のそれぞれを内容のまとめとした。

第 2 内容のまとめごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

I 第 5 学年及び第 6 学年

1 学年目標

- (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。
- (2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。
- (3) 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

2 第 5 学年及び第 6 学年の評価の観点の趣旨

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
自分の成長と衣食住や家族の生活などについて関心をもち、その大切さに気付き、家族の一員として家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとする。	衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりしている。	生活の自立の基礎として日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。	家庭生活を支えているものや大切さを理解し、日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

3 学習指導要領の内容, 内容のまとめごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

- (1) 「A 家庭生活と家族 (1) 自分の成長と家族」
【学習指導要領の内容】

(1) 自分の成長と家族について、次の事項を指導する。

ア 自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さに気付くこと。

【「(1) 自分の成長と家族」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
2 学年間の学習に見通しをもち、自分の成長と家族に関心をもって学習活動に取り組み、家庭生活と家族の大切さに気付いている。			

【「(1) 自分の成長と家族」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 4 学年までの学習を振り返り、家庭科の学習に関心をもち、2 学年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・ 衣食住などの学習活動を通して、自分の成長と家族に関心をもち、家庭生活と家族の大切さに気付いている。 			

(2) 「A 家庭生活と家族 (2) 家庭生活と仕事」

【学習指導要領の内容】

(2) 家庭生活と仕事について、次の事項を指導する。

ア 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができること。

イ 生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力すること。

【「(2) 家庭生活と仕事」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
家庭生活に関心をもち、家族の一員として家庭の仕事をしたり、家族に協力したりしようとしている。	家庭の仕事や生活時間について課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。		自分や家族の生活を支える仕事について理解している。

【「(2) 家庭生活と仕事」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 自分の分担する家庭の仕事に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の仕事を見直し、自分の分担する仕事の計画について考えたり、実践を通して自分なりに工夫したりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 家庭には、衣食住に関する仕事があり、自分や家族の生活を支えていることを理解している。
<ul style="list-style-type: none"> 自分や家族の生活時間を調べたり、見直したりして、家族と共に過ごしたり家族の生活に協力したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活時間の使い方を見直し、有効な使い方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。 		

(3) 「A 家庭生活と家族 (3) 家族や近隣の人々とのかかわり」

【学習指導要領の内容】

(3) 家族や近隣の人々とのかかわりについて、次の事項を指導する。

ア 家族との触れ合いや団らんを楽しくする工夫をすること。

イ 近隣の人々とのかかわりを考え、自分の家庭生活を工夫すること。

【「(3) 家族や近隣の人々とのかかわり」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<p>家族や近隣の人々とのかかわりに関心をもち、家族との触れ合いや団らんをもったり、自分の家庭生活をよりよくしたりしようとしている。</p>	<p>家族や近隣の人々とのかかわりについて課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p>		<p>家族との触れ合いや団らん、近隣の人々とのかかわりの大切さについて理解している。</p>

【「(3) 家族や近隣の人々とのかかわり」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 家族との触れ合いや団らんに関心をもち、家族に気持ちを伝えたり触れ合う場をもったりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族との触れ合いや団らんを楽しくすることについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。
<ul style="list-style-type: none"> 自分の家庭生活と近隣の人々とのかかわりについて関心をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の人々とのかかわりについて見直し、快適に生活するための方法について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活が近隣の人々とのかかわりで成り立っていることや協力し助け合っていく必要があることについて理解している。

(4) 「B 日常の食事と調理の基礎 (1) 食事の役割」

【学習指導要領の内容】

- (1) 食事の役割について、次の事項を指導する。
 ア 食事の役割を知り、日常の食事の大切さに気付くこと。
 イ 楽しく食事をするための工夫をすること。

【「(1) 食事の役割」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
日常の食事に関心を持ち、食事を大切にしようとしている。	楽しく食事をする事について課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。		食事の役割や大切さについて理解している。

【「(1) 食事の役割」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
・日常とっている食事に関心を持ち、食事の役割を考えて食事を大切にしようとしている。			・食事の役割や日常の食事の大切さについて理解している。
	・日常の食事を見直し、楽しく食事をする事について考えたり、自分なりに工夫したりしている。		・楽しく食事をするためのマナーについて理解している。 ・はしや食器の扱い方 ・食べる速さ ・会話 ・あいさつ ・残さず食べる事など

(5) 「B 日常の食事と調理の基礎 (2) 栄養を考えた食事」

【学習指導要領の内容】

- (2) 栄養を考えた食事について、次の事項を指導する。
 ア 体に必要な栄養素の種類と働きについて知ること。
 イ 食品の栄養的な特徴を知り、食品を組み合わせるとる必要があることが分かること。
 ウ 1食分の献立を考えること。

【「(2) 栄養を考えた食事」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
日常の食事に関心を持ち、栄養を考えた食事のとり	栄養を考えた食事について課題を見付け、そ		栄養を考えた食事のとり方について理解し、

方をしようとしている。	の解決を目指して考えたり，自分なりに工夫したりしている。	基礎的・基本的な知識を身に付けている。
-------------	------------------------------	---------------------

【「(2) 栄養を考えた食事」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事に含まれる栄養素が体の成長や活動のもとになることに興味をもっている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 五大栄養素の種類と働きについて理解している。 ・ 栄養を考えて食事をとることの大切さについて理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品をグループに分けることなどを通して、食品の栄養的な特徴や食品の組み合わせに関心をもっている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品に含まれる主な栄養素の体内での主な働きにより、食品を3つのグループに分ける分け方について理解している。 ・ 3つのグループの食品を組み合わせることにより、栄養のバランスがよい食事になることを理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1食分の食事のとり方に関心を持ち、栄養を考えた食事のとり方をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米飯とみそ汁を中心とした3つのグループの食品のそろった1食分の献立について考えたり，自分なりに工夫したりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養のバランスのよい1食分の献立の立て方について理解している。

(6) 「B 日常の食事と調理の基礎 (3) 調理の基礎」

【学習指導要領の内容】

(3) 調理の基礎について、次の事項を指導する。

- ア 調理に関心を持ち、必要な材料の分量や手順を考えて、調理計画を立てること。
- イ 材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けが適切にできること。
- ウ ゆでたり、いためたりして調理ができること。
- エ 米飯及びみそ汁の調理ができること。
- オ 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及びこんろの安全な取扱いができること。

【「(3) 調理の基礎」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
調理に関心を持ち、日常よく使用される食品を用いた調理をしようとしている。	日常よく使用される食品を用いた調理について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	日常よく使用される食品を用いた調理に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。	日常よく使用される食品を用いた調理に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

【「(3) 調理の基礎」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 調理に必要な材料や手順などに関心を持ち、調理計画を立てようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理に必要な材料や手順を考え、調理計画を自分なりに工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 計量器具を扱い、必要な材料を計量することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理に必要な材料の分量や手順、調理計画の立て方について理解している。 材料や調味料の正しい計量の仕方について理解している。
<ul style="list-style-type: none"> 調理において適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付けや配膳及び後片付けをしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理の目的や材料に合った洗い方、切り方、味の付け方、色どりや食べやすさを考えた盛り付けや配膳、衛生的で環境に配慮した後片付けについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理において適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付けや配膳及び後片付けができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理において適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付けや配膳及び後片付けの仕方について理解している。
<ul style="list-style-type: none"> ゆで方やいため方に関心を持ち、材料や目的に応じた調理をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料や目的に応じたゆで方やいため方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料や目的に応じたゆで方やいため方ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆでたりいためたりする調理の特性と材料や目的に応じたゆで方やいため方について理解している。
<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的な日常食である米飯及びみそ汁に関心を持ち、調理しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> おいしい米飯及びみそ汁の調理の仕方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 米飯及びみそ汁の調理ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 米飯及びみそ汁の調理の仕方について理解している。
<ul style="list-style-type: none"> 調理に必要な用具や食器及びこんろの安全と衛生に関心を持ち、調理実習で実践しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 調理に必要な用具や食器及びこんろの安全で衛生的な取扱いができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理に必要な用具や食器及びこんろの安全で衛生的な取扱い方について理解している。

(7) 「C 快適な衣服と住まい (1) 衣服の着用と手入れ」

【学習指導要領の内容】

(1) 衣服の着用と手入れについて、次の事項を指導する。

- ア 衣服の働きが分かり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できること。
- イ 日常着の手入れが必要であることが分かり、ボタン付けや洗濯ができること。

【「(1) 衣服の着用と手入れ」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
衣服に関心をもち、日常着を気持ちよく着たり、手入れをしたりしようとしている。	日常着の着方と手入れについて課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。	日常着の着方と手入れに関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。	日常着の着方と手入れについて理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

【「(1) 衣服の着用と手入れ」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
・衣服の働きや日常着の着方に関心をもち、気温や季節の変化、生活場面に応じた着方をしようとしている。	・衣服の保健衛生上の働きや生活活動上の働きをもとに、場面に応じた日常着の着方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。		・衣服の保健衛生上の働きが分かり、気温や季節の変化に応じた着方について理解している。 ・衣服の生活活動上の働きが分かり、生活場面に応じた着方について理解している。
・日常着の手入れに関心をもち、衣服を大切に扱い、気持ちよく着るために手入れをしようとしている。	・日常着を点検し、課題を見付け、気持ちよく着るための手入れについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。	・ボタン付けができる。 ・手洗いを中心とした洗濯ができる。	・衣服を気持ちよく着るために手入れが必要であることが分かり、ボタンの付け方や手洗いを中心とした洗濯の仕方について理解している。

(8) 「C 快適な衣服と住まい (2) 快適な住まい方」

【学習指導要領の内容】

(2) 快適な住まい方について、次の事項を指導する。

- ア 住まい方に関心をもって、整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できること。
- イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。

【「(2) 快適な住まい方」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
住まい方に関心をもち、	快適な住まい方につい	快適な住まい方に関す	快適な住まい方につい

身の回りを快適に整えようとしている。	て課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。	る基礎的・基本的な技能を身に付けている。	て理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
--------------------	---------------------------------------	----------------------	--------------------------

【「(2) 快適な住まい方」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
・整理・整頓や清掃に関心をもち、身の回りを快適に整えようとしている。	・身の回りを点検し、課題を見付け、整理・整頓や清掃の仕方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	・身の回りの物の整理・整頓ができる。 ・汚れの種類や汚れ方に応じた清掃ができる。	・身の回りの物の整理・整頓の仕方について理解している。 ・汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方について理解している。
・季節の変化に合わせた生活の仕方に関心をもち、快適な住まい方について考えようとしている。	・季節の変化に合わせた住まい方について課題を見付け、自分なりに快適な住まい方について考えたり、工夫したりしている。		・季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方について理解している。 ・自然を生かした住まい方 ・暑さ・寒さへの対処の仕方 ・通風や換気の仕方 ・採光の工夫

(9) 「C 快適な衣服と住まい (3) 生活に役立つ物の製作」

【学習指導要領の内容】

(3) 生活に役立つ物の製作について、次の事項を指導する。

ア 布を用いて製作する物を考え、形などを工夫し、製作計画を立てること。

イ 手縫いや、ミシンを用いた直線縫いにより目的に応じた縫い方を考えて製作し、活用できること。

ウ 製作に必要な用具の安全な取扱いができること。

【「(3) 生活に役立つ物の製作」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
布を用いた生活に役立つ物の製作に関心をもち、製作し、活用しようとしている。	布を用いた生活に役立つ物の製作について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	布を用いた生活に役立つ物の製作に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。	布を用いた生活に役立つ物の製作に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

【「(3) 生活に役立つ物の製作」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの生活に役立つ布を用いた物の製作に関心をもっている。 製作に必要な材料や用具等を準備し、見通しをもって製作しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭生活での布の活用について見直し、製作する物やその製作計画について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 製作に必要な材料や用具が分かり、製作手順について理解している。
<ul style="list-style-type: none"> 手縫いやミシン縫いに関心をもち、目的に応じた縫い方で製作し、その楽しさや活用する喜びを味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 手縫いやミシンを用いた直線縫いにより、目的に応じた縫い方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。 製作した物を自分の生活で活用し、改善点を考えたり、自分なりに工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> なみ縫い、返し縫い、かがり縫いなどができる。 ミシンを用いて直線縫いをすることができる。 目的に応じて手縫いやミシンを用いた直線縫いで製作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> なみ縫い、返し縫い、かがり縫いなどの縫い方について理解している。 ミシンの基本的な操作が分かり、ミシンを用いた直線縫いの仕方について理解している。
		<ul style="list-style-type: none"> 製作に必要な用具の安全な取扱いができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作に必要な用具の安全な取扱い方について理解している。

(10) 「D 身近な消費生活と環境 (1) 物や金銭の使い方と買物」

【学習指導要領の内容】

- (1) 物や金銭の使い方と買物について、次の事項を指導する。
- ア 物や金銭の大切さに気付き、計画的な使い方を考えること。
 - イ 身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。

【「(1) 物や金銭の使い方と買物」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
<p>物や金銭の計画的な使い方に関心をもち、適切に買物しようとしている。</p>	<p>物や金銭の計画的な使い方と適切な買物について課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。</p>	<p>物や金銭の計画的な使い方と適切な買物に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>物や金銭の計画的な使い方と適切な買物について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。</p>

【「(1) 物や金銭の使い方と買物」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
・自分の生活とのかかわりから、物や金銭の大切さに気付き、その使い方に関心をもっている。	・生活で使う身近な物や金銭の使い方を見直し、計画的な使い方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。		・限りある物や金銭の有効な使い方について理解している。
・身近な物の選び方や買い方に関心を持ち、適切に買物をしようとしている。	・購入しようとする物の品質や価格などの情報を活用し、目的に合った物の選び方や買い方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。	・購入しようとする物の品質や価格などの情報を集め、整理することができる。	・目的や品質を考えた物の選び方や適切な買い方について理解している。

(11) 「D 身近な消費生活と環境 (2) 環境に配慮した生活の工夫」

【学習指導要領の内容】

(2) 環境に配慮した生活の工夫について、次の事項を指導する。

ア 自分の生活と身近な環境とのかかわりに気付き、物の使い方などを工夫できること。

【「(2) 環境に配慮した生活の工夫」の評価規準に盛り込むべき事項】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
自分の生活と身近な環境とのかかわりに関心を持ち、環境に配慮した生活をしようとしている。	環境に配慮した生活について課題を見付け、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。		環境に配慮した生活の工夫について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

【「(2) 環境に配慮した生活の工夫」の評価規準の設定例】

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
・自分の生活と身近な環境とのかかわりに関心を持ち、物の使い方などを見直し、環境に配慮した生活をしようとしている。	・自分の生活を見直し、環境に配慮した物の使い方などについて考えたり、自分なりに工夫したりしている。		・環境に配慮した物の使い方などについて理解している。